

金沢大学博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト 令和6年度（10月期）選抜実施要項

<目次>

【重要】申請に際しての留意事項	p. 1
選抜スケジュール	p. 1
0. HaKaSe ⁺ 支援概要	p. 2
1. HaKaSe ⁺ の目的・概要	p. 3
2. 支援概要	p. 4
3. 申請要件	p. 5
4. 申請手続き	p. 8
5. 選抜方法	p. 8
6. 選抜結果発表・採用日	p. 9
7. 採用者の義務	p. 9
8. 個人情報	p. 10
9. その他	p. 10

【重要】申請に際しての留意事項

博士人材は、「我が国の科学技術・イノベーション」に貢献する人材として期待されています。金沢大学においても、高大院連携による大学院の機能強化、それによる研究力の強化を目指すべき方向のひとつとして掲げ、博士人材の育成・輩出に力を注いでいます。

「金沢大学博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト (HaKaSe⁺)」で実施する次の事業はいずれも、本学が文部科学省、独立行政法人日本学術振興会 (JSPS) 及び国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) による機関支援を受けて実施する事業です。

[HaKaSe⁺ 事業]

- ・ ナノ精密医学・理工学卓越大学院プログラム (HaKaSe⁺ for WISE)
- ・ 「知」の共創と往還で実現する新価値創造人材育成プロジェクト (HaKaSe⁺ for SPRING)
- ・ 金沢大学 AI Open Science 基盤の知識循環が可能にする先駆的 AI クロスオーバー博士人材育成プロジェクト (HaKaSe⁺ for BOOST) ※
- ・ 博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト予約採用 (HaKaSe⁺ 予約採用)

※HaKaSe⁺ for BOOST は、令和 6 年度 10 月期は募集を行わない。

これらの事業は、日本の科学技術・イノベーションの将来を担う優秀な博士後期・博士課程学生 (以下「博士学生」という。) に対して、経済的不安を抱えることなく研究に専念する環境を整備するとともに、博士人材としてのキャリア開発に資する様々な支援を実施するものです。

そのため、申請者は次の事項を理解した上で本選抜実施要項を熟読し、申請してください。

1. 採用された場合には「我が国の科学技術・イノベーション」に貢献する博士人材育成のための国費による支援を得ること
2. 博士後期・博士課程進学への主体性と能動性、博士後期・博士課程における研究遂行への責任を高めるため、HaKaSe⁺ for SPRING と HaKaSe⁺ for BOOST においては、令和 6 年度 4 月期採用者から入学金免除は適用せず、授業料は半額免除のみを適用していること
3. 申請資格又は採用者の義務に抵触する事実が判明した際には、支援の停止、採用の取消、受給したすべての経済的支援の返還等が課されること
4. 国費による支援を受ける選抜学生として、博士後期・博士課程修了後 10 年以上に亘りキャリアの追跡調査対象となること

選抜スケジュール

※本選抜実施要項に記載の日付・時間は、すべて日本時間で示している。

		詳細
申請期間	令和 6 年 7 月 17 日 (水) ~ 令和 6 年 8 月 5 日 (月) 正午 [必着] ※申請者及び指導 (予定) 教員が提出する申請書類の双方が、最終日の正午までに到着した申請のみ受け付ける。	p. 8 参照
面接審査対象可否の通知	令和 6 年 8 月 20 日 (火) まで ※面接審査対象者には、面接審査の日時及び詳細をあわせて通知する。	p. 9 参照
面接審査で用いるスライドデータ提出期限	令和 6 年 8 月 21 日 (水) 正午 [必着]	
面接審査	令和 6 年 8 月 26 日 (月)、27 日 (火) 及び 28 日 (水) ※各申請者の面接審査日時は HaKaSe ⁺ が指定する。	
選抜結果発表	令和 6 年 9 月末日まで	
HaKaSe ⁺ 採用日	令和 6 年 10 月 1 日 (火)	

0. HaKaSe+ 支援概要

「金沢大学博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト (HaKaSe+)」の各事業概要及び経済的支援内容並びに令和6年度10月期募集において各事業への申請可能な者は下表のとおりである。

		ナノ精密医学・理工学 卓越大学院プログラム (HaKaSe+ for WISE)	「知」の共創と往還で実現する 新価値創造人材育成 プロジェクト (HaKaSe+ for SPRING)	金沢大学AI Open Science基盤の 知識循環が可能にする 先駆的AIクロスオーバー 博士人材育成プロジェクト (HaKaSe+ for BOOST)	博士研究人材支援・ 研究力強化戦略プロジェクト 予約採用 (HaKaSe+ 予約採用)	
事業実施機関		文部科学省・ 独立行政法人日本学術振興会 (JSPS)	国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST)	国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST)	金沢大学独自	
事業内容		学位プログラム	研究支援・キャリア形成支援	AI分野及びAI分野における新興・融合 領域 (次世代AI分野) の人材育成 及び先端的研究開発の推進	金沢大学大学院博士後期課程 進学確約者への経済的支援	
新規募集最終年度		令和7年 (2025) 年度	令和8 (2026) 年度	令和8 (2026) 年度	—	
定員		12名/年度	155名 (全体計)	2名/年度	十数名/年度	
支援期間 (原則)		博士前期・修士課程2年及び 博士後期課程3年の5年間 又は博士課程 (4年制) の4年間の 標準修業年限内	博士後期課程 又は博士課程 (4年制) の標準修業年限内	博士後期課程 又は博士課程 (4年制) の標準修業年限内	博士前期・修士課程 の標準修業年限内	
申請対象 課程 令和6年 10月1日 時点	博士前期・修士課程	○ 令和6年度10月期入学者のみ	×	令和6年度の募集定員に達したため、 令和6年度10月期の募集は行わない。	○ 在学月数12月以内の者のみ	
	博士後期課程	×	○		×	
	博士課程 (4年制)	○ 令和6年度10月期入学者のみ	○		×	
経済的 支援内容 概略 令和6年度 適用	博士前期・ 修士課程	奨励金/月	50,000円 (原則)	—	—	
		RA給与	上限 約360,000円/年	—	—	
	博士後期・ 博士課程	奨励金/月	180,000円 (原則)	180,000円	250,000円	—
		研究費/年	400,000円	400,000円	900,000円	—
	令和6年度 適用	RA給与	上限 約240,000円/年 博士課程 (4年制) 1年次のみ	—	—	—
		旅費等支援	独自支援有	独自支援有	独自支援有	—
		入学科免除	全額免除	—	—	全額免除 令和6年度10月期入学者のみ
授業料免除	全額免除	半額免除	半額免除	全額免除		
採用者の義務 ※ [3. 申請要件 (2) 申請資格] 及び [7. 採用者の義務] に おいて詳細を確認すること		・所属する研究科が定める修了に必要な 要件に加え、HaKaSe+ for WISE所定 の必修科目の単位を修得すること ・金沢大学が実施する研究力向上等に 関するプログラム及びキャリア形成 支援に関するプログラムの年度開催 企画数の半数を超える企画に参加し、 参加者アンケートやフォローアップ に回答すること ・毎年度、学修及び研究の進捗状況 並びに成果等を報告すること	・金沢大学が実施する研究力向上等 に関するプログラム及びキャリア形成 支援に関するプログラムの年度開催 企画数の半数を超える企画に参加し、 参加者アンケートやフォローアップ に回答すること ・毎年度、学修及び研究の進捗状況 並びに成果等を報告すること [外国人留学生] 本学大学院修了後、3年以上、日本 の企業、大学、研究所等 (在外の現 地法人を含む) 又は外資系企業の 日本国内の事業所に就職することを 誓約すること	・本プロジェクトが実施する「AI理論 教育」「AIレクチャー&実習」「AI キャッチアップセミナー」「AI研究 交流」に必ず参加すること ・支援期間中にAI研究の学会発表や論文 発表を行うこと ・金沢大学が実施する研究力向上等 に関するプログラム及びキャリア形成 支援に関するプログラムの年度開催 企画数の半数を超える企画に参加し、 参加者アンケートやフォローアップ に回答すること ・毎年度、学修及び研究の進捗状況 並びに成果等を報告すること [外国人留学生] 本学大学院修了後、3年以上、日本 の企業、大学、研究所等 (在外の現 地法人を含む) 又は外資系企業の 日本国内の事業所に就職することを 誓約すること	・博士学位取得後の活躍を誓約し、 本学大学院博士後期課程への進学を 確約すること ・本学大学院各研究科博士後期課程の 入学選抜試験に合格の後、本プロ ジェクト本選抜審査を受験すること ・博士前期課程在籍者については、 「博士論文研究基礎力審査(QE)」に より課程を修了すること ・毎年度、学修及び研究の進捗状況 並びに成果等を報告すること [外国人留学生] 本学大学院博士後期課程修了後、 3年以上、日本の企業、大学、 研究所等 (在外の現地法人を含む) 又は外資系企業の日本国内の事業所 に就職することを誓約すること	

[申請書類]

- ・ Application Form A-1, B-1, C-1
 - ・ 成績証明書
 - ・ 指導 (予定) 教員推薦書
 - ・ Application Form A-2, B-2, C-2
 - ・ 成績証明書
 - ・ 指導 (予定) 教員推薦書
- ※令和6年10月以降において、所属
企業等から給与・役員報酬等の
収入を得る予定の者については、
雇用形態及び勤務条件並びに
収入を証明する書類
※令和6年10月1日進学/入学予定者
については、各研究科大学院入学
選抜試験における合格通知書
(写) 又は受験票 (写)

※各事業の支援対象の詳細は、2. 支援概要 (1) 支援対象となる研究科・課程・専攻及び3. 申請要件
を必ず確認すること。

※p. 3 以降を熟読の上、申請書類を作成すること。

1. HaKaSe⁺の目的・概要

金沢大学は、我が国そして世界のイノベーション創出の芽となり、未来社会の創造を担う卓越した博士人材の育成・輩出に力を注いでいる。

「金沢大学博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト (HaKaSe⁺)」(以下「HaKaSe⁺」という)は、本学が文部科学省、独立行政法人日本学術振興会 (JSPS) 及び国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) による機関支援を受けて実施する次に掲げる事業を柱とし、志高い博士学生への支援を強化するとともに、本学学生の博士後期・博士課程への進学を後押ししている。

- ・ナノ精密医学・理工学卓越大学院プログラム (HaKaSe⁺ for WISE) [令和元 (2019) 年度～]
- ・「知」の共創と往還で実現する新価値創造人材育成プロジェクト (HaKaSe⁺ for SPRING) [令和 6 (2024) 年度～]
- ・金沢大学 AI Open Science 基盤の知識循環が可能にする先駆的 AI クロスオーバー博士人材育成プロジェクト (HaKaSe⁺ for BOOST) [令和 6 (2024) 年度～]

HaKaSe⁺各事業では、経済的支援をはじめ、研究専念環境の充実、学際性・国際性の涵養、博士学位取得後のキャリア形成等に向けた支援を強化し、社会に貢献する博士人材の育成を目指している。

HaKaSe⁺に申請し採用された博士学生には、奨励金及び研究費の支給、旅費補助等を含めいずれか1つの事業から支援を行うことで研究活動専念環境を整備し、HaKaSe⁺及び各事業が課す採用者の義務の履行を求める。

さらに、博士学位取得後の活躍を誓い本学博士後期課程への進学を確約した上で博士前期・修士課程に進学又は在学する学生を、HaKaSe⁺の「予約採用者」として選抜し、博士前期・修士課程在学中の経済的負担が軽減されるよう支援する。

磨き上げる高い専門性と研究基盤力を礎に新たな知の創造に挑む挑戦的かつ学際的な研究に邁進し、社会における新たな価値創造を担う意欲ある学生を募集する。

各事業の詳細は以下のとおりである。

なお、HaKaSe⁺ for BOOST は、令和 6 年度 10 月期は募集を行わない。次回の募集は、令和 7 年度 4 月期を予定している。

【ナノ精密医学・理工学卓越大学院プログラム (HaKaSe⁺ for WISE)】

5 年一貫型 (博士前期・修士課程 2 年及び博士後期課程 3 年) 又は医学・薬学の 4 年制博士課程から成る博士学位プログラム。

所属研究科が定める修了に必要な要件に加え、プログラム所定の必修科目の単位を修得した者に、金沢大学学位規程に規定する博士の学位を授与し、学位記に本プログラムの修了を付記する。

[学位記に付記する名称] ナノ精密医学・理工学卓越大学院プログラム修了

本学が強みを持つナノサイエンスを基盤とし、ナノレベルでの理解・制御による革新的予防・診断・治療法の創出を担う「技術に強いナノ精密医学プロフェッショナル・医学に強いナノ精密理工学プロフェッショナル」を育成する。

※HaKaSe⁺ for WISE は、本選抜実施要項に加え、独自のプログラム要項があるので、必ず確認すること。

【「知」の共創と往還で実現する新価値創造人材育成プロジェクト (HaKaSe⁺ for SPRING)】

多様な博士学生が本学に集い、社会の様々なセクターを含む「知」の共創と往還による共修共学環境のなかで、高度な専門性を社会の多様なセクターや分野で展開して、未来への新たな価値を生み出し、社会を牽引していくイノベティブな博士人材「新価値創造人材」を育成するプロジェクト。自身の研究分野にとらわれない広い視野、社会課題と向き合う姿勢と行動力を持ち、我が国及び世界の科学技術の進展やイノベーションの創出に貢献する優秀で志高い博士人材を支援する。

【金沢大学 AI Open Science 基盤の知識循環が可能にする先駆的 AI クロスオーバー博士人材育成プロジェクト (HaKaSe+ for BOOST)】

高度な AI 知識とスキルに裏打ちされた、先端的な AI 理論研究や様々な専門分野における AI 応用研究を推進し、次世代 AI の研究開発を牽引していく博士人材を育成するプロジェクト。AI 学術領域への探究心と、創造的な AI 研究を実施できる資質を有することを重視し、AI 理論研究又は応用研究を推進し AI 研究に関する知識とスキル、研究経験を既に有している博士学生に加え、自身の研究分野において AI を取り入れ研究を推進していこうという高い意欲を持つ博士学生を支援対象とする。

本プロジェクト採用者は、進化の著しい AI 技術をキャッチアップし、AI エンジニア・データサイエンティストとしてのスキルを持ち、これを駆使して自身の研究に最適な AI の研究開発を遂行するレベルへ到達すること、及び AI 研究の学会発表や論文発表を行うことが必須となる。そのため、本プロジェクトが実施する「AI 理論教育」「AI レクチャー&実習」「AI キャッチアップセミナー」「AI 研究交流」への参加を課す。併せて、知の共有により知識循環を促し、金沢大学の AI 研究を加速させるため、研究成果の創出に際しては、採用者及び指導教員が当該 AI 研究のサンプルデータやサンプルコード、ノウハウを学内で共有することを求める。

【博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト予約採用 (HaKaSe+予約採用)】

博士学位取得後の活躍を誓約し本学大学院博士後期課程への進学を確約した上で博士前期・修士課程に進学又は在学する学生を、「予約採用者」として選抜し、博士前期・修士課程の入学料（入学時に予約採用された者に限る）及び博士前期・修士課程在学中の授業料を全額免除するとともに、研究の世界へ誘う多様な企画へ参加できる制度。

博士後期課程において HaKaSe+から支援を受けるため、予約採用者は本学大学院博士後期課程の入学選抜試験合格の後、HaKaSe+の本選抜審査に合格する必要がある。本選抜審査の結果、合格となった者は、博士後期課程において HaKaSe+ for SPRING に採用され、同事業の下で支援を受ける。なお、博士後期課程において HaKaSe+ for BOOST による支援を希望する者に対しては、別途審査の上、HaKaSe+ for BOOST に採用することがある。

なお、本学では、本学大学院博士前期課程から博士後期・博士課程への学内進学を希望する学生は、原則「博士論文研究基礎力審査 (Qualifying Examination : QE)」により博士前期課程を修了することとしている。そのため、博士後期課程への進学を確約する予約採用者のうち博士前期課程在学者にあつては無論のこと本原則を適用する。

2. 支援概要

(1) 支援対象となる研究科・課程・専攻

プロジェクト	研究科	課程	専攻
ナノ精密医学・理工学卓越大学院プログラム (HaKaSe+ for WISE)	大学院自然科学研究科	博士前期・後期課程	全専攻
	大学院医薬保健学総合研究科	博士課程	医学専攻 薬学専攻
		修士課程 (博士後期課程へ進学する者)	医科学専攻
		博士前期・後期課程	創薬科学専攻 保健学専攻
	大学院先進予防医学研究科	博士課程	先進予防医学共同専攻
大学院新学術創成研究科	博士前期・後期課程	全専攻	
「知」の共創と往還で実現する新価値創造人材育成プロジェクト (HaKaSe+ for SPRING)	全研究科	博士後期課程・博士課程	全専攻
金沢大学AI Open Science基盤の知識循環が可能にする 先駆的AIクロスオーバー博士人材育成プロジェクト (HaKaSe+ for BOOST)	全研究科	博士後期課程・博士課程	全専攻
博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト予約採用 (HaKaSe+ 予約採用)	全研究科	博士前期課程・修士課程 (博士後期課程へ進学する者)	全専攻

(2) 経済的支援の内容

各事業が提供する経済的支援は下表のとおり。

(令和6年度適用)

		ナノ精密医学・理工学 卓越大学院プログラム (HaKaSe+ for WISE)	「知」の共創と往還で実現する 新価値創造人材育成 プロジェクト (HaKaSe+ for SPRING)	金沢大学AI Open Science基盤の 知識循環が可能にする 先駆的AIクロスオーバー 博士人材育成プロジェクト (HaKaSe+ for BOOST)	博士研究人材支援・ 研究力強化戦略プロジェクト 予約採用 (HaKaSe+ 予約採用)
支援期間 (原則)		博士前期・修士課程2年及び 博士後期課程3年の5年間 又は博士課程(4年制)の4年間の 標準修業年限内	博士後期課程 又は博士課程(4年制) の標準修業年限内	博士後期課程 又は博士課程(4年制) の標準修業年限内	博士前期・修士課程 の標準修業年限内
博士前期・ 修士課程	奨励金/月	50,000円 (原則)			—
	RA給与	上限 約360,000円/年			—
博士後期・ 博士課程	奨励金/月	180,000円 (原則)	180,000円	250,000円	
	研究費/年	400,000円	400,000円	900,000円	
	RA給与	上限 約240,000円/年 博士課程(4年制)1年次のみ	—	—	
旅費等支援		独自支援有	独自支援有	独自支援有	—
入学科免除		全額免除	—	—	全額免除 採用年月の入学者のみ
授業料免除		全額免除	半額免除	半額免除	全額免除

経済的支援は、HaKaSe+採用者及び予約採用者に対する特例である。したがって、HaKaSe+ for WISEの履修を博士後期・博士課程修了の前に取り止め又は中断した場合若しくはHaKaSe+の採用又は予約採用を辞退等した場合、その他の場合に、支援を停止し、奨励金、研究費及びその他HaKaSe+が支給した全ての経済的支援の返還並びに免除した入学料及び授業料の支払いを求めることがある。

なお、予算の状況により、経済的支援の内容を変更する場合がある。

採用決定後、採用日までに渡日できない場合、未渡日の日を含む月の奨励金は支給しない。月の途中で渡日した場合は翌月から奨励金の支給を開始する。研究費もまた、奨励金支給開始月から使用開始となる。

HaKaSe+のうち授業料半額免除を適用する事業に採用された場合において、別途、本学独自の授業料免除制度に申請し、当該申請の結果が半額免除であるときは、HaKaSe+による授業料半額免除のみを適用する。

3. 申請要件

(1) 募集人員

募集人員は下表に規定するとおりである。

申請者は、(2)に規定する申請資格を確認のうえ、申請時に希望する事業を選択すること。なお、採用事業は審査結果及び研究計画の内容を踏まえHaKaSe+が決定する。そのため、希望が叶わないことがあるので留意すること。

ナノ精密医学・理工学 卓越大学院プログラム (HaKaSe+ for WISE)	「知」の共創と往還で実現する 新価値創造人材育成 プロジェクト (HaKaSe+ for SPRING)	金沢大学AI Open Science基盤の 知識循環が可能にする 先駆的AIクロスオーバー 博士人材育成プロジェクト (HaKaSe+ for BOOST)	博士研究人材支援・ 研究力強化戦略プロジェクト 予約採用 (HaKaSe+ 予約採用)
若干名	若干名	—	若干名

(2) 申請資格

HaKaSe+の趣旨を理解し、標準修業年限内での博士学位取得に向けた研究への高い意欲とあくなき探求心を有するとともに、博士学位取得後は高度な専門性を社会の多様なセクターで展開し、より良い未来社会創造に貢献したいという気概ある者であって、以下に示す要件を全て満たすこと。

なお、HaKaSe+ for WISEにあっては5年一貫型(又は4年制)博士学位プログラムであること、HaKaSe+予約採用にあっては博士学位取得後の活躍を誓約する者を後押しする制度であることに鑑み、**博士前期課程及び修士課程進学者及び在学者にあっては博士後期課程への進学を確約しない者は申請資格を有さない。**

① 令和6年10月1日時点で下表に規定する研究科・課程・専攻に在籍する者

			ナノ精密医学・理工学 卓越大学院プログラム (HaKaSe+ for WISE)	「知」の共創と往還で実現する 新価値創造人材育成 プロジェクト (HaKaSe+ for SPRING)	金沢大学AI Open Science基盤の 知識循環が可能にする 先駆的AIクロスオーバー 博士人材育成プロジェクト (HaKaSe+ for BOOST)	博士研究人材支援・ 研究力強化戦略プロジェクト 予約採用 (HaKaSe+ 予約採用)
人間社会環境 研究科	博士前期課程	全専攻	—	—	令和6年度の募集定員に 達したため、令和6年度 10月期の募集は行わない。	○ ※2
	博士後期課程	人間社会環境学専攻	—	○		—
自然科学 研究科	博士前期課程	全専攻	○ ※1	—		○ ※2
	博士後期課程	全専攻	—	○		—
医薬保健学 総合研究科	修士課程	医科学専攻	○ ※1	—		○ ※2
	博士課程	医学専攻	○ ※1	○		—
		薬学専攻				
	博士前期課程	創薬科学専攻	○ ※1	—		○ ※2
		保健学専攻				
	博士後期課程	創薬科学専攻	—	○		—
保健学専攻						
先進予防医学 研究科	博士課程	先進予防医学共同専攻	○ ※1	○		—
新学術創成 研究科	博士前期課程	全専攻	○ ※1	—		○ ※2
	博士後期課程	全専攻	—	○		—
法学研究科	修士課程	法学・政治学専攻	—	—	○ ※2	

※1 令和6年度10月期入学者のみ。HaKaSe+ for WISEの申請対象者は、1. HaKaSe+の目的・概要に規定のとおり、独自のプログラム要項を必ず確認すること。
 ※2 在学月数12月以内の者のみ

② 「7. 採用者の義務」に規定する事項の遵守を確約できること。

③ 主任指導（予定）教員の推薦を得ること。

④ 博士後期・博士課程において「ジョブ型研究インターンシップ」の専用システムに必ず登録すること。
併せて、企業が提示するジョブディスクリプション（業務内容、必要とされる知識・能力等）を積極的に閲覧し、応募を検討すること。

（参考）<https://career-support.adm.kanazawa-u.ac.jp/internship/jobtype/>

⑤ 博士後期・博士課程において科学技術・学術政策研究所（NISTEP）「博士人材データベース（JGRAD）」に必ず登録し、博士後期・博士課程修了後も引き続き自身のキャリアの状況を登録・更新すること。

（参考）<https://jgrad.nistep.go.jp/>

⑥ HaKaSe+予約採用者のうち博士前期課程在学者においては、原則、QEにより博士前期課程を修了し、本学大学院博士後期課程に進学すること。

⑦ 日本学術振興会特別研究員 DC1 又は DC2 の申請資格を満たす場合、少なくとも一度必ず申請すること。なお、一度不採用となった者は、可能な限り、翌年度 DC2 へ応募すること。DC1 又は DC2 に採用された際には、HaKaSe+からの経済的支援の受給を辞退し DC1 又は DC2 として研究に専念すること。この際、HaKaSe+ for WISE 履修者にとっては、同プログラムの履修を継続すること。

⑧ HaKaSe+ for SPRING、HaKaSe+ for BOOST 及び HaKaSe+予約採用においては、本学大学院博士後期・博士課程修了後の進路において、博士学位をもって、我が国の科学技術・イノベーションの創造に貢献すること。外国人留学生の場合は、本学大学院博士後期・博士課程修了後、3年以上、日本の企業、大学、研究所等（在外の現地法人を含む）又は外資系企業の日本国内の事業所に就職することを誓約する者。

※博士後期・博士課程を修了しなかった場合及び修了時にこの要件を満たさないことが判明した場合、原則、採用以降に支給した奨励金、研究費及びその他のプロジェクトが支給した全ての経済的支援の返還並びに免除した入学金及び授業料の支払いを課す。

⑨ 上記に関わらず、以下のいずれかに該当する者は申請資格を満たさない。

(a) 重複受給等の制限

次に掲げる経済的支援等を受けている者は、HaKaSe+による支援を受給することはできない。なお、HaKaSe+ for WISE、HaKaSe+ for SPRING、HaKaSe+ for BOOST、HaKaSe+予約採用で、それぞれ要件が異なることに留意すること。

ただし、申請時に重複受給等の制限に該当する奨学金等の収入がある場合でも、当該奨学金等の受給を辞退することにより、令和6年10月1日の時点において申請要件を満たすことが可能な場合には、HaKaSe+に申請することを認める。

また、他の奨学金による経済的支援を受給しているあるいは受給予定であり、かつ当該奨学金側で併給を認めていない場合には、その奨学金のルールに従う必要がある。そのため、必ずHaKaSe+への申請に先立ち、申請者自身の責において当該奨学金側に併給に関する制限の有無を確認すること。本事業での支援が決定した際には、その奨学金を辞退する等の適切な手続きを行うこと。

なお、重複受給等の制限に関し不明な点がある場合は、9. その他(2) 問合せ先に確認すること。

【HaKaSe+ for WISE】

以下のいずれかに該当する者は、博士後期・博士課程の奨励金をはじめとして受給することができない経済的支援がある。ただし、当該経済的支援を受給することなくプログラムを履修する意思のある者は、申請することができる。受給することができる経済的支援については、必要に応じ、9. その他(2) 問合せ先に確認すること。

- ・独立行政法人日本学術振興会の特別研究員(DC)として研究奨励金を受給している者
- ・国費外国人留学生制度による支援を受ける外国人留学生
- ・独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)の奨学金を受ける者
- ・独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)の学習奨励費を受ける外国人留学生
- ・母国の奨学金等による支援を受ける外国人留学生
- ・奨学金等(主として生活費相当額の支援を目的とするもの)を受ける者
- ・アルバイトを行う者(TA、RA等の一部例外を除く)

【HaKaSe+ for SPRING・HaKaSe+ for BOOST】

- ・独立行政法人日本学術振興会の特別研究員(DC)として研究奨励金を受給している者
- ・国費外国人留学生制度による支援を受ける外国人留学生
- ・母国の奨学金等による支援を受ける外国人留学生
- ・奨学金等(主として生活費相当額の支援を目的とするもの)を受ける者
- ・以下に該当する社会人学生

なお、以下の収入要件とは別に、選抜学生としての研究専念義務を果たし得ない、あるいはHaKaSe+におけるキャリア開発・育成コンテンツの取組に専念できる状況にないと判断される場合には、支援対象としない。

- 所属する大学や企業等から生活費相当額として十分な水準(240万円/年)の給与・役員報酬等の安定的な収入を得ている者
- 所属企業等から十分な生活費相当額(240万円/年を基準とする)を受給可能な制度があるにもかかわらず、受給していない者

なお、独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)大学院第一種奨学金を受給することを妨げないが、令和5年度以降に博士後期・博士課程においてJASSO大学院第一種奨学生として採用された者については、HaKaSe+ for SPRING及びHaKaSe+ for BOOSTの支援を受けた場合、「特に優れた業績による返還免除制度」の候補者の対象とならないことに留意すること。

【HaKaSe+予約採用】

- ・金沢大学新学術創成研究科奨学金
 - ・国費外国人留学生制度による支援を受ける外国人留学生
- ※国費外国人留学生制度による支援を受ける外国人留学生が本学大学院博士後期・博士課程に進学する際には、原則として、同制度の延長申請の結果が不採用である場合に限りHaKaSe+の採用対象とする。

(b) 令和6年10月1日から休学を予定している者

4. 申請手続き

(1) 申請方法

申請者及び指導（予定）教員それぞれが、以下に従い、（2）に掲げる所定の申請書類を申請期間内に提出すること。

一度提出した申請書類の変更は認めない。申請書類が揃っていない等の不備があった場合も同様とし、そのまま審査を行う。

・申請者：

(2) 申請書類 a～c 及び e～g を一つのファイル（PDF 形式）にし、電子メールに添付し提出すること。

※ファイル名を必ず「申請者の氏名（フルネーム）」とすること。

※メールのタイトルを必ず「HaKaSe+申請書類」とすること。

・指導（予定）教員：

(2) 申請書類 d を PDF 形式にて、電子メールに添付し提出すること。

※ファイル名を必ず「申請者の氏名（フルネーム）推薦書」とすること。

※メールのタイトルを必ず「HaKaSe+推薦書_申請者の氏名（フルネーム）」とすること。

(2) 申請書類

a. 申請書（Application Form A-1 又は A-2）

b. 同意書（Application Form B-1 又は B-2）

※同意書に記載の全ての事項に同意できない場合は申請を受理しない。

c. 研究計画調書（Application Form C-1 又は C-2）

d. 指導（予定）教員推薦書（Recommendation letter of supervisor (planned)）

e. 成績証明書（学士課程以後、卒業・修了及び在籍中の全ての課程）

f. 令和 6 年 10 月以降において、所属企業等から給与・役員報酬等の収入を得る予定の者にあつては、雇用形態及び勤務条件並びに収入を証明する書類

g. 各研究科大学院入学者選抜試験における合格通知書（写）又は受験票（写）

※令和 6 年 10 月 1 日進学／入学予定者のみ。

(3) 申請期間

令和 6 年 7 月 17 日（水）～令和 6 年 8 月 5 日（月）正午 [必着]

※申請者及び指導（予定）教員が提出する申請書類の双方が、申請期間内に到着した申請のみ受け付ける。なお、指導（予定）教員から「d. 指導（予定）教員推薦書」の提出があつたかどうかの問合せには応じない。

(4) 提出先

学務部学務課

E-mail : jisedai[at]adm.kanazawa-u.ac.jp ※[at]を@に置き換えること。

※申請の受領メールは送信しない。

5. 選抜方法

書面審査及び面接審査を実施する。

書面審査及び面接審査の結果等を総合的に判断し、合否を決定する。

審査の観点は以下のとおりとする。

- ・研究計画・内容が、HaKaSe+の趣旨を踏まえたものであるか
- ・HaKaSe+採用者たるに相応しい十分な研究業績を有しているか
- ・自身の研究分野にとらわれない広い視野と社会課題への認識はあるか
- ・HaKaSe+採用者たるに相応しい研究への高い意欲と HaKaSe+参画に対する積極性が認められるか
- ・HaKaSe+の趣旨を理解し、博士学位取得後において、我が国及び世界の科学技術の進展及びイノベーションの創出に貢献するキャリアを描いているか

なお、HaKaSe+ for BOOST を希望する者に対しては、上記に加え、以下の観点を付す。

- ・AI 研究に関する知識・スキル及び研究経験や研究実績を有しているか
- ・次世代 AI 研究を遂行することへの意欲と資質を有しているか

・書面審査

提出のあった申請書類に基づき実施する。

なお、書面審査において、令和6年10月1日入学者にあっては、各研究科が実施する博士後期・博士課程又は博士前期・修士課程の大学院入学者選抜試験の成績を確認する。

・面接審査

面接審査対象の当否は、令和6年8月20日（火）までに申請書類に記載の E-mail 宛てに通知する。万が一、期日までに通知がなかった場合、4. 申請手続き（4）提出先まで連絡すること。

面接審査対象者には、研究計画調書（Application Form C-1 又は C-2）に記載の観点に基づく面接審査を行う。面接審査は、次のとおり実施するため、申請者はプレゼンテーションデータ提出期限を厳守するよう準備すること。

- ・プレゼンテーション（10分以内〔厳守、最低8分〕）及び質疑応答（10分程度）により構成する。使用言語は日本語又は英語とする。
- ・プレゼンテーションでは申請者が作成したスライドデータを必ず用いることとし、発表内容及び発表で使用するスライドデータは、研究領域や専門分野の異なる研究者に伝わるよう工夫して作成すること。
- ・面接審査対象である旨の通知を受領した申請者は、令和6年8月21日（水）正午〔必着〕までにプレゼンテーションデータ（パワーポイント及びPDFファイル）を提出すること。なお、面接審査の詳細は、対象者宛てに通知する。
- ・面接審査は、令和6年8月26日（月）、27日（火）及び28日（水）に実施する。各申請者の面接審査日時は HaKaSe+ が指定する。

※なお、危機管理上の観点などにより本学が必要と認める場合は、Web コミュニケーションツールを用いて面接審査を行うことがある。

6. 選抜結果発表・採用日

選抜の結果は、令和6年9月末日までに申請書類に記載の E-mail 宛てに通知する。

採用日は令和6年10月1日とする。

7. 採用者の義務

採用者には、次の事項を履行する義務がある。HaKaSe+ が、義務の不履行を認めたとき又は（5）の報告に基づき支援の継続が適当でないと認めたときに、支援の停止、採用の取消、経済的支援の返還請求等の対応を取る。

- (1) HaKaSe+ の理念を理解するとともに、公費により支援を受けることを十分に自覚したうえ、学業及び研究に専念すること。
- (2) 金沢大学が HaKaSe+ 主催又は共催により実施する研究力向上等に関するプログラム及びキャリア形成支援に関するプログラムの年度開催企画数の半数を超える企画に参加し（令和6年度は年間を通じて11回以上の参加が相当。10月期採用者に求める令和6年度の参加回数は採用後に別途指示する）、参加者アンケートやフォローアップに回答すること。
- (3) HaKaSe+ for WISE に選抜された学生にあっては、所属する研究科が定める修了に必要な要件に加え、プログラム所定の必修科目の単位を修得すること。
- (4) HaKaSe+ for BOOST に選抜された学生にあっては、(2) は推奨とする。ただし、同プロジェクトが実施する「AI 理論教育」「AI レクチャー&実習」「AI キャッチアップセミナー」「AI 研究交流」に参加して次世代 AI の研究開発を遂行する知識とスキルを高め、支援期間中に AI 研究の学会発表や論文発表を行うこと。
- (5) 毎年度、学修及び研究の進捗状況並びに成果等について、所定の様式により報告すること。
- (6) 博士人材支援の実施に際し、文部科学省、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）、独立行政法人日本学術振興会（JSPS）や金沢大学等が実施する各種調査、アンケート、フォローアップに、本学在籍中のみならず修了後においても協力すること。
- (7) 採用された事業により得た研究成果を発表する場合は、当該事業により助成を受けた旨を明記すること。
- (8) 奨励金及び RA 給与に関する税法上の手続き等を実施すること。奨励金は、税法上「雑所得」として扱われ課税対象となることから、確定申告が必要となる。また、奨励金及び RA 給与の受給により、

親又は親族等の被扶養者となっている場合の健康保険や扶養手当等における扶養扱いが変わる可能性がある。そのため、各自で税務署又は扶養者若しくは扶養者の勤務先担当者等へ確認し、必要な手続きを行うこと。

(9) その他、採用された事業が定める各種事項を遵守すること。

8. 個人情報

- ・申請書類に記載の氏名、住所、その他の個人情報は、「書面審査」、「面接審査」、「選抜結果発表」などの業務及び HaKaSe+ に関する業務を遂行するために利用する。
- ・選抜に用いた試験成績などの個人情報は、選抜結果の集計・分析及び選抜方法の調査・研究のために個人を特定しない範囲で利用する。
- ・HaKaSe+ の選抜に当たり、研究科における大学院入学者選抜試験の資料を利用する。
- ・採用者の氏名・所属等は Web サイト及び各種報告書等の印刷物で公表する場合がある。
- ・HaKaSe+ 活動の記録として、授業、イベント等の写真を報告書等の印刷物及び Web サイトで公表する場合がある。

9. その他

(1) 入学料免除（徴収猶予）及び授業料免除申請

HaKaSe+ の採用が決まった場合には、2. 支援概要（2）経済的支援の内容に規定する入学料・授業料免除が適用されることから、3. 申請要件（2）申請資格①に基づき、申請者各自の申請可能な事業に応じて、下表のとおり手続きを行うこと。

【各自の申請可能な事業に応じた必要手続き】

	ナノ精密医学・理工学 卓越大学院プログラム (HaKaSe+ for WISE)	博士研究人材支援・ 研究力強化戦略 プロジェクト予約採用 (HaKaSe+ 予約採用)	「知」の共創と往還で 実現する新価値創造 人材育成プロジェクト (HaKaSe+ for SPRING)
入学料 (令和 6 年 10 月 1 日 入学予定者対象) ※令和 6 年 9 月に本学大学 院博士前期課程又は修士課 程を修了し、引き続き博士 後期課程又は博士課程に進 学する者を除く。	<u>必ず入学料徴収猶予(又は入学料免除)の手続きを執り、選抜結果の判明まで入学料を納入しないこと。</u> 入学料免除を申請した者は、HaKaSe+ for WISE 又は HaKaSe+ 予約採用への採用を以て必ず取消申請をすること。		HaKaSe+ for SPRING のみに申請可能な者は、入学料徴収猶予(又は入学料免除)の申請を行うことを、妨げない。
授業料 (令和 6 年 10 月 1 日 入学予定者及び 在学者対象)	<u>授業料免除の申請を行うことは妨げない。申請した者は、HaKaSe+ for WISE 又は HaKaSe+ 予約採用への採用を以て必ず取消申請をすること。</u>		授業料免除の申請を行うことは妨げない。

【申請方法】

次の金沢大学 Web サイトを確認し、本人調書（様式 1-1, 1-2）を提出すること。
提出に当たっては、様式上部に「HaKaSe+ 申請中」と記載すること。

[入学料免除・入学料徴収猶予 Web ページ]

https://www.kanazawa-u.ac.jp/students/economic/exemption_grace

[授業料免除 Web ページ]

https://www.kanazawa-u.ac.jp/students/economic/tuition_waiver/graduate_students

HaKaSe+ の採用が決まった場合には、2. 支援概要（2）経済的支援の内容に規定する各事業の入学料・授業料免除の適用に係る手続きを学務部学務課において行う。採用されなかった場合は、本学が指定する期間に所定の入学料又は授業料を徴収する。ただし、本学独自の入学料・授業料免除制度に申請中の者については当該選考結果に基づき徴収する。

(2) 問合せ先

金沢大学学務部学務課

〒920-1192 石川県金沢市角間町 金沢大学角間キャンパス 本部棟2階

E-mail : jisedai[at]adm.kanazawa-u.ac.jp ※[at]を@に置き換えること。

Web サイト : <https://phd.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

※申請の受理や選抜結果等に関する個別の問合せには応じない。

(3) その他

- 申請書類の返却は行わない。
- 提出書類の内容に虚偽が判明した場合は、選抜後でも採用を取り消す場合がある。この場合、支給済みの経済的支援の全額返還並びに免除した入学料及び授業料の支払いを課す。
- 申請者への連絡は申請書類に記載の E-mail アドレスに行う。そのため、E-mail アドレスは、大学からのメール (kanazawa-u.ac.jp) を確実に受信できるアドレスとすること。添付ファイルを送信する場合があるため、携帯電話のアドレスは認めない。